

臨床研究「医師による診断を対照にした AI 腫瘍診断システムの性能比較試験」について

筑波大学附属病院皮膚科では、標題の臨床研究を実施しております。本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究対象

2000年1月1日から2019年5月31日までに当院で皮膚疾患の診断や治療を受けた患者さんです。

② 研究の意義・目的・方法

レントゲン写真やCT画像を人工知能（AI）により自動診断するシステムの開発が進んでおり、近い将来AIによる自動読影が可能となると考えられています。一方、皮膚科領域はテレダーマトロジーとも呼ばれる遠隔診断システムが民間業者によりすでに実用化していますが、これはAIではなく皮膚科医が写真や臨床情報を基に遠隔診断しているため、多くの症例を短時間に処理することはできません。

AIの開発には多量の皮膚病の写真が必要であることから、日本皮膚科学会が主導し、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による研究費を財源とした皮膚病を集めた国家的なデータベースを作成する研究が行われ、皮膚疾患画像データベースが作られました。筑波大学附属病院皮膚科は当科で保管している皮膚疾患の写真をそのデータベースに提供しています。なお、提供前に個人を判別できる可能性のある写真（個人が特定可能な顔面全体の写真、特徴的な刺青や詳細な指紋など）を除外しますので、個人が特定できるような写真及び臨床情報は一切提供していませんので、データベースを介して個人情報流出する恐れはありません。

現在、様々な施設でこのデータベースを使用して皮膚病の写真を使った診断補助システムの開発が行われています。筑波大学は人工知能（AI）を使った新たな皮膚腫瘍画像診断補助システムを株式会社生命科学インスティテュートの共同研究により開発を進めており、皮膚腫瘍の写真を用いて診断システムが正常に稼働するかどうかを確かめる観察研究を計画しました。

今回の研究の目的は、開発した診断システムが実際の臨床の場で使用可能かどうかをテストすることが目的です。なお、この臨床研究は、筑波大学の倫理審査委員会によって、研究計画の妥当性が評価されており、医学の発展に役立つ情報が得られることなどが検討され、実施が認められています。

研究実施期間は倫理委員会承認後から 2023 年 3 月 31 日までとなります。

③ 研究機関名・研究者名

研究組織は以下の様になっております。

研究代表施設：筑波大学皮膚科・藤澤 康弘

協力研究施設：株式会社生命科学インスティテュート

④ 保有する個人情報に関する利用目的

上記②で説明したとおり、皮膚病の写真データベースを構築することが第一の目的で、その次に AI 診断システムの開発を行いますが、個人が特定できるような写真及び臨床情報は一切使用しません。

⑤ 保有する個人情報の開示手続

ご本人の写真が使用されているかどうかについてお知りになりたい場合は下記の連絡先にご連絡ください。なお、既に写真が加工されて機械学習に使用されるなどした後は特定の写真を削除することが出来なくなりますのでご注意ください。

⑥ 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

筑波大学附属病院 〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：皮膚科 藤澤 康弘

電話・FAX：029-853-3128（平日 10：00-17：00）